

「アートギャラリー北海道」展開方針

H29.10. 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

1 趣旨

北海道内には、道立美術館のほか、個性的で多様なコレクションを収集・展示している公・私立の美術館や文化施設等が多数あります。また、北海道を訪れる観光客が近年増加傾向にあることなどから、各館の持つ資源をこれまで以上に発信・活用していくことが求められています。

そこで、道内の美術館等が連携して、それぞれの施設や所蔵作品を相互に紹介し、鑑賞の機会や楽しみを増やすことをはじめ、PR活動や各種イベントに取り組むことによって、北海道全体をアートの舞台とし、美術館を訪れる人を増やし、地域ににぎわいをもたらし、ことを目指します。

2 連携の概要

I 連携の内容

美術館相互の連携協力により、多様な鑑賞機会の提供や魅力あるイベント、効果的なPR活動などの取組を進めます。

取組例

(1) 展覧会の開催

道立館において、各館の所蔵作品を紹介する展覧会を開催します。さらに、道立館作品との交換展の開催もすすめ、多様な鑑賞機会を提供します。

(2) イベントにおける協力

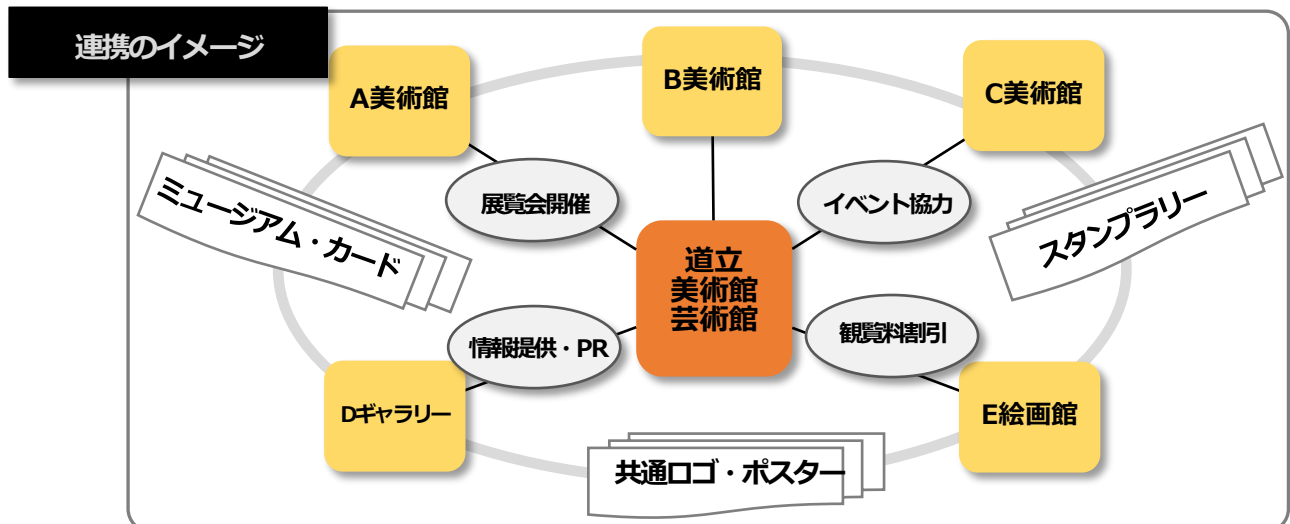
モバイル・スタンプラリーをはじめ、ワークショップやコンサートなどの事業を協力して開催し、各館の認知度や魅力を高め、来館者の増加を図ります。

(3) 情報提供・PR

共通のロゴマークやポスター、各館の情報を掲載したチラシなどを作成するほか、「アートギャラリー北海道」のwebページを設けるなど、効率的な情報提供を行い、PR効果を高めます。

(4) 観覧料の割引

各館(道立美術館・芸術館以外)の観覧半券を提示することで、道立美術館の常設展の観覧料割引を行い、各館への来館を促します。



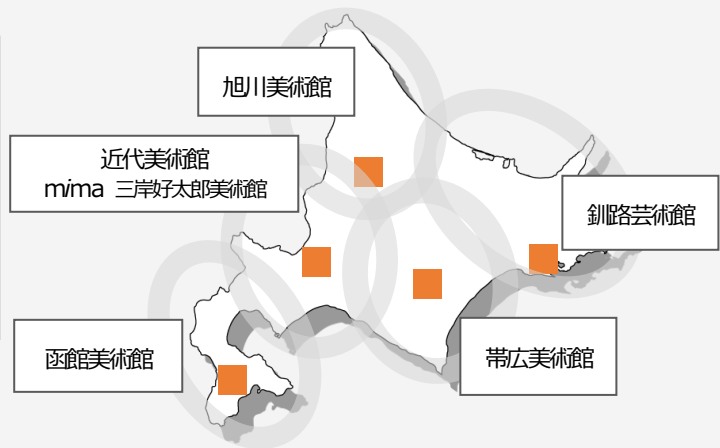
※詳細は別紙をご参照ください。

II 連携の方法

道立美術館・芸術館と、各館の所在する5つの圏域において、それぞれの圏域内の公立美術館、私立美術館、美術品を収集・展示している文化施設や企業等と連携することを基本とします。

連携圏域図

- (1) 近代美術館・mima 三岸好太郎美術館と札幌圏を中心とした全道の美術館等
- (2) 旭川美術館と道北・道央の美術館等
- (3) 函館美術館と道南の美術館等
- (4) 帯広美術館と道東・道央の美術館等
- (5) 釧路芸術館と道東の美術館等



3 取組の開始

平成30年度より、北海道150年事業と連動しながら、開始します。また、以降は連携をさらに深め、事業内容の充実を図っていきます。

「アートギャラリー北海道」は、

北海道の美術館等がネットワークでつながり、
双方向でアートを紹介・発信するとともに、
若手作家等の活動の場や機会の提供など
美術館の機能を充実させることによって、

「美術館を行き交う人々があふれ、北海道全体がアートの舞台となる」

ことを目指します。

各道立美術館・芸術館は、「アートギャラリー北海道」を推進するため、子どもたちの芸術体験活動の充実など教育機能の充実をはかるとともに、各地域の若手作家など人材育成にも努めます。